

大学名	新潟大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学分野
主任教授	早崎 治明

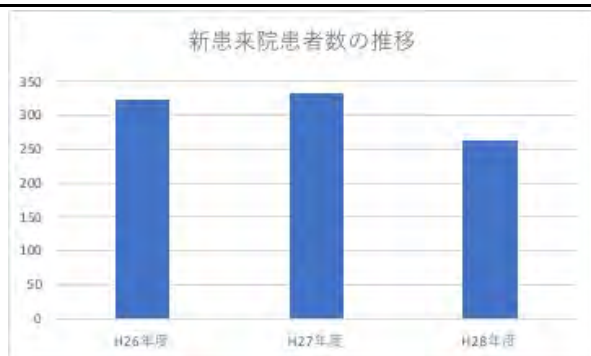
講座の特色

新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野は、本州の日本海側唯一の国立大学法人歯学部の方野として、昭和59年に誕生して以来、学生および大学院生の教育、地域の小児の口腔に関わる問題の診療（支援）、およびこれらに関する研究を行ってきました。小児の口腔内の問題は、齲蝕だけに留まらず、歯肉の腫脹、外傷、咬合の異常などが挙げられますが、最近は哺乳や離乳など食べる機能や食育に関する主訴も増えています。また、平成24年11月に医系・歯系の外来診療室はともに新病院に移転いたしました。これを機に「小児歯科診療室」は室名を「小児歯科・障がい者歯科診療室」に変え新たにスタートいたしました。小児および障がい者へ、より安全で良質な歯科治療を提供できるよう、最新の材料や対応法について、アップデート行っております。当分野で研究、臨床において研鑽を積んだ先輩方は、日本の小児歯科、障がい者歯科医療に貢献できる人材が育ってきています。

新潟大学医歯学総合病院 小児歯科・障がい者歯科診療室

設備	チェア数：7台
	個室：2室
スタッフ	受付：3名
	歯科衛生士：4名

※



<<主な診療内容>>

- ・齲蝕治療
- ・炎症
- ・外傷
- ・咬合誘導
- ・障がい児・者の歯科治療
- ・外科処置（過剰歯抜歯、小帯切除など）

<<研究内容>>

- ・乳歯由来のiPS細胞を用いた再生医療研究
- ・摂食（捕食）と咀嚼の成長発達に関する研究
- ・歯磨きに関する研究
- ・小児の顎顔面形態と口腔機能に関する臨床研究
- ・小児の顔の三次元的成長発達に関する研究
- ・小児口呼吸に関する臨床的・基礎的研究
- ・被虐待児童の口腔内状況に関する研究
- ・摂食行動における運動学的および神経生理学的研究
- ・歯の損傷治癒過程における歯髄幹細胞の動態に関する研究

<<関連する病院>>

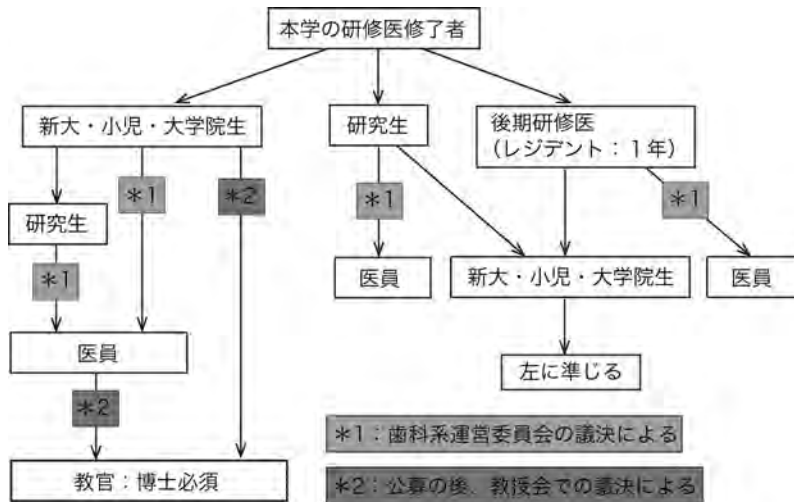
- ・知的障害者総合援護施設 新潟県コロニーにいがた白岩の里
- ・国立病院機構 西新潟中央病院
- ・新潟県はまぐみ小児療育センター

大学名	新潟大学		
講座、分野（教室）名	小児歯科学分野		
主任教授	早崎 治明		
講座医局員研修プログラム責任者	早崎 治明		
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本小児歯科学会専門医 (日本障害者歯科学会認定医等も取得可能)		
講座医局員研修プログラムの特色			
<p>当分野の医局員研修プログラムは、主に小児歯科学会専門医の資格取得を目標に行っております。専門医の申請資格を取得するには当分野に5年以上属して臨床経験を積み、学会発表等を行うこと、および5年以上「日本小児歯科学会」に所属することが必要となります。将来は、地域で小児歯科を担うリーダーとして活躍する人材の育成を目指しています。また、研究にも力を入れており、咀嚼運動などのビッグデータの解析、細菌学や再生医療に関する基礎研究など、研究者としての道の土台を作ることが可能です。</p>			
大学院生		医員	
1年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療を安全かつ確実に行うために、検査、診断、治療方法、行動調整法に関する基本的な知識を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導医のもと自ら担当医となる。 ・一口腔単位での治療計画を立案する。 ・週1回の新患カンファレンス、咬合および外科カンファレンスに参加する。 ・齲蝕カンファレンスでの症例検討を自ら行う。 <p>2) 学位論文に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語論文の要約・発表を行う。 ・小児歯科学会へ参加する。 	1年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療を総合的かつ包括的に実施できるよう、知識・技術を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導医のもと自ら担当医となる。 ・一口腔単位での治療計画を立案する。 ・週1回の新患カンファレンス、咬合および外科カンファレンスに参加する。 ・齲蝕カンファレンスでの症例検討を自ら行う。
2年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療を実践的に行うために、検査、診断、治療方法、行動調整法を自ら選択できるとともに様々な症例を経験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一口腔単位での治療を実践する。 ・簡単な小手術を経験する。 ・指導医のもと全身麻酔下、静脈内鎮静法下での歯科治療を経験する。 ・週1回の新患カンファレンス、咬合および外科カンファレンスで症例検討を自ら行う。 <p>2) 学位論文に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科学および障害者歯科学に関連した研究を実施する。 	2年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療を総合的かつ包括的に実施できるよう、知識・技術を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一口腔単位での治療を実践する。 ・簡単な小手術を経験する。 ・指導医のもと全身麻酔下、静脈内鎮静法下での歯科治療を経験する。 ・週1回の新患カンファレンス、咬合および外科カンファレンスで症例検討を自ら行う。
3年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療の知識・技術を深めるために、より困難な症例を経験し、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科学会専門医申請に必要な長期継続観察10症例を自ら担当する。 ・自ら行動調整法を選択し、治療を行う。 ・咬合誘導を実施できる。 <p>2) 学位論文に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者歯科学会へ参加する。 	3年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療を総合的かつ包括的に実施できるよう、知識・技術を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本小児歯科学会専門医申請に必要な長期継続観察10症例を自ら管理する。 ・日本障害者歯科学会認定医申請に必要な60症例を経験する。

4年目	<p>1) 臨床技能の研修 小児および障害者の歯科治療を総合的かつ包括的に実施できるよう、知識・技術を習得する。 ・日本障害者歯科学会認定医申請に必要な60症例を経験する。</p> <p>2) 学位論文に関する研究 ・小児歯科学会または障害者歯科学会にて発表を行う。 ・小児歯科学および障害者歯科学に関連した研究について学術論文の作成を行うことができる。</p>	4年目	
卒後 1年目	日本小児歯科学会専門医および日本障害者歯科学会認定医の取得に必要とされる知識・技能をさらに深める。	5年目	
卒後 2年目	日本小児歯科学会専門医および日本障害者歯科学会認定医の取得に必要とされる知識・技能をさらに深める。	6年目	

大学名	新潟大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学分野
主任教授	早崎 治明

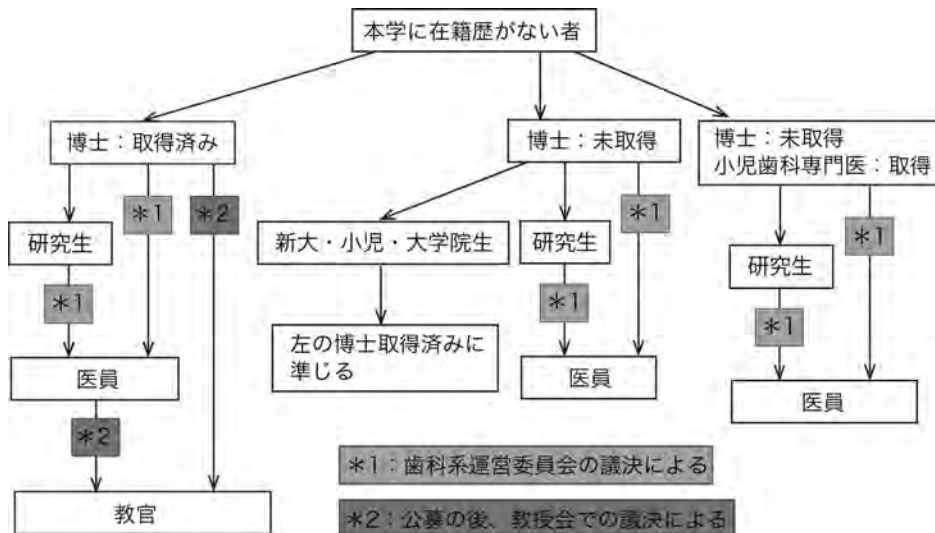
本学の研修医修了者のキャリアデザインに向けてのフローチャート



詳細

大学院生	後期研修医（レジデント）
講座への入局希望受付期間： 7月～1月	講座への入局希望受付期間： 9月
願書提出時に必要な書類： 下記ホームページ参照	願書提出時に必要な書類：
http://www.dent.niigata-u.ac.jp/	応募申請書、歯科医師臨床研修修了見込証明書、推薦状等 適正試験あり
問い合わせ先： (025) 227-2912	

本学に在籍したことがない者のキャリアデザインに向けてのフローチャート



詳細

研究生	
講座への入局希望受付期間： 3月	
必要な書類：	
申請書、受入内諾書、誓約書等	
問い合わせ先： (025) 227-2912	